

もし彼がもう少し長く生きてくれていたら
シベリウスに並ぶ大作曲家になっていたかもしれない・・・



Toivo Kuula (1883-1918) トイヴォ・クーラ

フィンランドの貧しい家庭に生まれる。ヘルシンキ音楽学校に入学するが父親の反対で休学し実家に戻る。後、復学しシベリウス(1865-1957)の最初の弟子として作曲を学び、のちにボローニャ、ライプツィヒ、パリに留学。帰国後、作曲と指揮を中心に活躍し、シベリウスと共にフィンランド音楽界を担う人物として期待を集める。しかし、1918年ロシア革命の煽りで勃発したフィンランド内戦の最中、反革命軍の勝利を祝う宴席で酔った狙撃兵と口論になり、頭を撃ち抜かれ死亡。34歳。



平光 真彌 (ヴァイオリン) Shin'ya Hiramitsu, Violin

愛知県立芸術大学卒業。同大学大学院修了。中村桃子賞受賞。第11回日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。2012年、小淵沢室内楽セミナーにて「緑の風音楽賞」及び講師特別賞受賞。2017年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞を受賞。ソロ、室内楽、オーケストラで縦横に活躍、名古屋の音楽シーンをリードする。愛知室内オーケストラコンサートマスター。愛知県立芸術大学非常勤講師。



ルドヴィート・カンタ (チェロ) Ľudovít Kanta, Cello

スロヴァキア共和国出身。プラティスラヴァ音楽院、プラハ音楽アカデミー修了。プラハの春国際音楽コンクール第2位、チャイコフスキー国際コンクール等で上位入賞を果たす。ソリストとしてゲルギエフ、ピエロフラワーヴェク、コシュラー、岩城宏之らの指揮者たちと共演。CDも多数リリースされている。1990年よりオーケストラ・アンサンブル金沢の首席チェロ奏者を務め、2018年に退団し現在は名誉楽団員。温かな人間性から溢れ出る品格と音楽性が聴く人を魅了する。2019年3月第16回北陸中日芸能文化賞を受賞。



五島 史誉 (ピアノ) Fumiyo Goshima, Piano

東京藝術大学音楽学部付属音楽高校、同大学卒業。 Folkwang Music University (独) 卒業。その後イモラ音楽院(伊)にて研鑽。イタリアのカッシーナ・デ・ベッキ、およびフォルリッポ・トレビザーンの両国際ピアノコンクールにて第2位受賞。帰国後2009年に宗次ホール初出演。以後日本での活動を本格化。2017年にはモーツァルトのピアノ協奏曲室内楽版連続演奏会を行う。2017年度名古屋市民芸術祭奨励賞受賞。名古屋音楽大学、岐阜県立加納高校、および岐阜聖徳学園大学短期大学部非常勤講師。



新田 ユリ (お話) Yuri Nitta, Guest Speaker

国立音楽大学卒業後、桐朋学園大学ディプロマコースに学ぶ。1990年ブザンソン国際青年指揮者コンクールでファイナリスト。1991年東京国際音楽コンクール〈指揮〉第2位。2000年、文化庁芸術家在外研修生としてフィンランドに派遣。以後フィンランドと日本を拠点に活動。2015年より愛知室内オーケストラ常任指揮者。現在日本シベリウス協会会長。国立音楽大学、相愛大学非常勤講師。

平光真彌の室内楽「未知の名曲を探して」

第2回 2019年9月19日(木)

弦楽五重奏 南アフリカ〜モザンビーク〜チェコ

第3回 2020年1月26日(日)

珠玉の英国音楽選

発売日未定

(決定次第ホームページ、SNSにて発表)



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間: 10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業